

令和 8 年度
中間支援組織を活用した地域スポーツ環境整備強化事業
「クラブマネジメントセミナーⅡ」報告

- 1 テーマ 部活動地域展開の目指す姿と総合型地域スポーツクラブの役割
- 2 日時 令和 8 年 9 月 8 日（火）13 時 30 分から 16 時 30 分まで
- 3 場所 秋田県スポーツ科学センター研修室
- 4 講師 地域コミュニティ共創室 Be smile 代表 馬場 雅美氏
- 5 内容

（1）部活動地域展開の背景

- ・少子化により学校単位での部活動運営が困難化
- ・教員の働き方改革が求められ、教員のみの指導体制が限界
- ・生徒の体力向上や人間関係構築など、部活動の教育的意義は高い

（2）地域展開の必要性と目指す姿

- ・地域のスポーツ・文化資源を活用し、地域全体で子どもたちの活動を支える仕組みが必要
- ・学校部活動の教育的意義を継承・発展させつつ、地域全体で新たな価値を創出
- ・多様な主体（自治体、総合型地域スポーツクラブ、民間事業者等）が連携

（3）総合型地域スポーツクラブの役割

- ・子どもから高齢者まで、多世代・多種目・多志向で活動できる場を提供
- ・地域住民が主体となり、自主的・持続的な運営を目指す

（4）事例紹介

①羅臼スポーツクラブらいず（北海道羅臼町）

- ・町民有志による運営委員会を組織し、町の補助金ゼロでスタート。toto 助成金や体育館指定管理受託など、多様な財源を確保し、持続可能な運営体制を構築
- ・コーディネーションントレーニングを活動の柱とし、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加
- ・地域住民の自主的な参画による多世代交流の場を創出し地域資源を活かした活動を展開

②厚真町総合型地域文化・スポーツクラブ（北海道厚真町）

- ・町教育委員会と連携し、文化・スポーツを楽しむ人も極める人も、すべての人のためのクラブを目指して設立
- ・子どもから高齢者まで、多世代・多種目・多志向で活動できる環境を整備
- ・文化活動とスポーツ活動を融合し、障害のある人や初心者も参加しやすい環境を実現

③留寿都村「Rusutsu United」（北海道留寿都村）

- ・義務教育学校の新設を契機に、地域コミュニティの場としてクラブを設立
- ・水泳指導者、元インストラクター、保健師、保育士、イベント企画者など多様な人材が運営に参画
- ・「楽しむ・上達・つながる・地域貢献」を目標に、世代を超えた活動を展開し、子どもから大人まで楽しめる新しい地域活動の形を実現

（5）参加者からの感想・意見

- ・コーディネーションントレーニングの実践を取り入れた内容もあったので良かった。
- ・他自治体の取り組みの事例内容が、とても参考になった。
- ・部活動展開は、行政だけで行うのではなく、地域の人たちと一緒に考えつくるのが大

切であり、その仲介役となるのがコーディネーターの役割だと再認識した。

- ・「地域コミュニティを地域と共に創る」という方向性は一緒だと確認できた。
- ・一歩ずつ進んで地域の方々と子どもたちの笑顔のために頑張っていきたい。

参加者の皆さんからは、他にもたくさんのご意見をいただきました。今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

コオーディネーショントレーニング「Co-ordination Training」は、潜在的能力に働きかけ「学ぶ力」を引き出す脳のトレーニングです。
詳しくは、NPO 法人 JACOT

(6) 感想

- ・「行政が部活動地域展開を進めていく」という考えから「行政も・クラブも・地域住民も・子どもたちも、みんなで地域を『共創』していく」考えが重要であると感じた。



開 会 行 事



主催者あいさつ【千葉専務】



講師 馬場 雅美氏

代表
馬場 雅美 様



コオーディネーショントレーニングの実践

